

# 地域・職域連携の取組検討について

## 目的

国の「地域・職域連携推進ガイドライン」の改訂に伴い、都における地域・職域連携の具体的な取組の方向性について検討し、次期計画の推進に向けた取組につなげる。

< 議論のイメージ >

地域・職域連携の意義の理解、連携の現状把握  
(令和元年度)

現状を踏まえた方向性について、取組の大まかな意見交換  
(令和元年度)

具体的な取組の方向性について検討  
(令和2年度)

## 議論

令和元年度第2回施策検討部会（12月）において、地域・職域連携推進ガイドラインの意義や、都における地域・職域連携の現状等を踏まえ、今後の取組の方向性について議論を行った。

< 議論における主な意見 >

### 【健康経営の推進について】

- ・健康経営の取組の進め方について知りたい
- ・健康経営の取組を通じた地域貢献や人を資本とする考え方が重要

⇒ 健康経営を始めるためのきっかけ（動機付け）づくりや、健康経営による効果の周知が必要

### 【連携の際のリソースの活用について】

- ・専門職の有効活用や事業の周知方法などの検討が必要
- ・既存のリソースの活用が不十分

⇒ 人材（保健師・栄養士等）や施設、啓発資材などの共有・活用について検討が必要

### 【連携強化の方向性について】

- ・地域から職域に目を向け、連携できるところから開拓していくことが必要
- ・働く親世代と子供をつなげて、家庭内の健康意識を高めていくという視点も重要

⇒ 保険者、事業所、経済団体などの連携を強化し、取組の充実を強化する必要

議論を踏まえ...

地域・職域連携の取組検討アンケートの結果と合わせ、改めて現状を踏まえた課題の分析、取組の方向性や取組内容のリストアップなどを行い、令和2年度の施策検討部会で具体的な取組の方向性について、中・長期的な視点で検討していく。

## 今後のスケジュール

